

# 桜の豆知識

桜の種類の中で一番多く分布しているのがソメイヨシノです。そのため多くの人は、桜=ソメイヨシノとイメージするぐらい日本各地に植栽されています。

霞城公園では、約1500本の桜が咲き誇り、そのうち9割以上はソメイヨシノです。一般的に60年が寿命と言われていますが、園内には100年を超えるソメイヨシノも数多く現存しています。日露戦争の凱旋記念として当時駐屯していた将兵が二ノ丸土塁等に植樹したと言われております。

ソメイヨシノの誕生は江戸時代後期に江戸の染井村(現豊島区)の植木屋が売り出した品種と言われております。当初、奈良の桜の名所「吉野山」にちなんで「吉野桜」と命名されていましたが、吉野山の桜は山桜であったため、混同しないよう1900年に染井村の名を取り「染井吉野」と名付けたと言われております。

現在日本の桜の約8割はソメイヨシノと言われております。一本の木から接木などで増やされてきた、言い換えれば「クローン植物」です。よって気象条件が合えば一斉に花が咲き、そして一斉に花を散らします。

ソメイヨシノが誕生する以前は、桜と言えば山桜だったようです。

また、山形県の特産品として、最近注目を浴びている桜は、冬に咲く啓翁桜(けいおうざくら)で生産量も日本一です。山形県内各地で栽培されています。シナミザクラとカンヒザクラを交配して作られた品種と言われております。根元から3mほど直立する細い枝が何本も集った株立ちのような桜です。山形の啓翁桜は特に美しいと評判で、部屋の飾りや贈呈品として全国各地から注文が多く入るそうです。

## ビュースポット & フォトスポット

### ① 二ノ丸東大手門大手橋周辺

●定番中の定番スポット。各種パンフレットの表紙などにも使われています。土塁の上からお堀の水面ぎりぎり枝を伸ばし水面に映る桜はとても美しい。桜の期間中は夜のライトアップも行っている。また二ノ丸東堀に平行してJRが走っており、新幹線等を入れた面白いアングルで写真が撮れます。



### ② 二ノ丸東大手門広場

●最上義光騎馬像をバックに記念写真はいかがですか。観桜会の時期には大茶会も開かれ、枝垂れ桜の前が一番人気の場所です。

### ③ 本丸一文字門広場周辺

●満開時には桜の下で宴会する人達の密集地帯になります。

### ④ 本丸一文字門大手橋周辺

●本丸の正面入口に架かる橋です。橋上から周辺の桜や高麗門を背景に一枚。

### ⑤ 二ノ丸土塁園路

●園内を周遊しながら桜を見られます。桜も一番密集しており、まさに桜のトンネル。満開時には来園者が絶えず歩いています。(1周約2.2km)



### ⑥ 桜の園

●植樹したてで小ぶりだが桜の種類(オオヤマザクラ・サトザクラ・カンザン等)が多く楽しめます。将来の桜のメインスポット候補。

### ⑦ 郷土館(旧済生館本館)

●擬洋風建築の傑作といわれ国指定重要文化財になっております。建物と周辺の桜がマッチングしてとても綺麗な写真が撮れます。

### ⑧ 二ノ丸西不明門周辺

●見事な桜が土塁に連なり、見ごたえ抜群で一見の価値あり。お花見客がほとんどいなく秘かな穴場になっています。

### ⑨ 霞城セントラル24階

●24階の北側展望台からは霞城公園(山形城跡)が一望できます。桜色に染まった展望は圧巻です。

他にみなさんが見つけたビュースポット・フォトスポットがありましたら、是非教えて下さい。

お問い合わせ

山形市まちづくり政策部 公園緑地課

TEL : 023-641-1212(内線:529・530)

E-mail : koen@city.yamagata-yamagata.lg.jp

令和6年3月作成

# さくら

## ガイドマップ



国指定史跡 山形城跡  
霞城公園

日本の山野に自生している野生種は下記図の基本的な10種類になります。また栽培品種の桜の数は300種類以上あると言われております。



※注意：桜関連の下記図書を参考に一般的に考えられている分類を図にしたものです。

・日本のサクラの種・品種マニュアル (財団法人日本花の会 昭和57年)  
・週間花百科②さくら (講談社 平成16年)  
・フィールドベスト図鑑 日本の桜 (学習研究社 平成21年)

は園内にある桜です。





### 染井吉野 (ソメイヨシノ)

4月中旬頃開花 園内の桜の大部分を占め、土塁上を一周する様は霞城公園のシンボル。



### 1 紅枝垂 (ベニシダレ)

枝が柔らかくその名のとおり枝垂れる桜でエドヒガン系統。開花時期が長く、格好のフォトスポットになっている。



### 2 御衣黄 (ギョイコウ)

花が黄緑色から黄色に変化する珍しい桜。貴族の装束の萌黄色が名前の由来。ソメイヨシノより開花が遅い。



### 3 高遠小彼岸桜 (タカトウコヒガンザクラ)

第十六代山形城主保科正之の前任地信濃高遠から寄贈されたもの。開花時期が一番早い。



### 4 鬱金 (ウコン)

黄色の桜を咲かせる。ウコンの根を染料に用いた鬱金色が名前の由来。ソメイヨシノより開花が遅い。



### 5 大島桜 (オオシマザクラ)

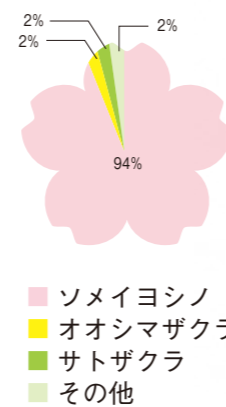
花弁は白色で5弁、淡い芳香を持つ。他にも二ノ丸土塁の所々に自生している。ソメイヨシノより開花が遅い。



### 6 山形霞憐 (ヤマガタカレン)

ヤエザクラ『八重久作と白妙』を掛け合わせた新品種。雪深い長い冬を越えて春を迎える市民の喜びと、春霞のように淡く可憐に咲く様をあらわし命名。

園内の桜の割合 (総本数約 1500本)



桜は日本人の心や精神の象徴と言われ、春に桜を見る行為は日本人の遺伝子に刻まれているように、人々は毎春、桜を見て心を癒す何故なら、それが日本人だから... 城跡の土塁から溢れんばかりに咲き誇る桜堀の水面に優美に映る桜城と桜の饗宴 建築美と桜のコントラストそれが霞城公園の桜

# 霞城公園

国指定史跡 山形城跡

## さくらガイドマップ



### 7 霞城の桜 (カジョウノサクラ) 【山形市指定天然記念物】

樹種はエドヒガン。根元の周りが7m余り、樹齢は600年を越すものと推定されるため、延文二年(1357年)斯波兼頼が山形城を築城した当時のものとされ霞城公園内の桜の長老。一見の価値あり。

同期の桜で、最上義光の領国支配権の確立の過程にまつわる有名な伝説として伝わる『血染めの桜』がありました。昭和二十四年の野球場建設に伴い公園の北西隅に移植しましたが、その後枯死してしまいました。



### 8 上溝桜 (ウワミズザクラ)

5月頃、長さ10cm前後の穂に、白色の5弁の小花が総状に集団をなして咲く。



### 9 里桜 (サトザクラ)

紅色八重咲き。他にも二ノ丸土塁の所々に点在している。ソメイヨシノより開花が遅い。



### 10 仁科蔵王 (ニシナザオウ)

御衣黄に重イオンビームを照射して作り出した新品種で、淡黄色の花を咲かせます。



### 11 稚児桜 (チゴザクラ)

寒河江市の慈恩寺(国指定重要文化財)にある『慈恩寺稚児桜』の種苗化により誕生した二世の桜。慈恩寺稚児桜(寒河江市天然記念物)は最上氏第11代当主最上義光が寄進したと伝えられており、慈恩寺舞楽で奉納されていた稚児舞(現在は舞われていない)が由来とされています。

### 12 三市友好の桜

仙台市・福島市・山形市の三市の連携の象徴として各市から採取された枝を養生して植樹した桜。エドヒガンザクラ、モニワザクラ、シダレザクラの三種6本が植えられている。